

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



コープ
プラス
+

誰一人取り残さない世界をめざして コープはSDGsに貢献します

ESデイジーズ

SDGsは私たちが地球でくらし続けるための目標です

私たちが食べているものは、どうやって作られているのでしょうか。世界で8億人もの人々が飢餓に苦しみ、日本を始め世界で自然災害が多発しているのはなぜでしょう。いま、世界では紛争、差別、暴力、気候変動など、さまざまな問題が深刻になっています。世界中の国々が一緒になってこれらの問題を解決しなければ、地球の未来はありません。そこで、2015年の国連サミットですべての加盟国が合意し、採択されたのが「SDGs（持続可能な開発目標）」です。

SDGsは、「地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）」ことを誓い、17の目標・169のターゲットから構成されていて、2030年までに実現することをめざしています。

SDGsは私たち一人ひとりが取り組むことが大切です

SDGsは、「政府やNGOだけが取り組むものではありません。地球にくらす私たち一人ひとりが、SDGsを意識した生活をするのが大切です。コープは助

「SDGs」って聞いたことがありますか？ SDGsは、世界中で直面する問題を解決するために、国連が掲げた目標です。コープもSDGsを実現するために、さまざまな取り組みを進めています。

コープデリグループでは、ビジョン2025（2025年のめざす姿）を実現するため、これまでに温室効果ガス排出削減や環境配慮型商品の開発と普及、産直、食育、地域見守り活動、ユニセフ等の国際支援など、さまざまな課題に取り組んできました。これらに取り組みは、SDGsに関わる課題でもあります。また、日本生活協同組合連合会の第68回通常総代会で採択された「コープSDGs行動宣言」は、コープがあらためて持続可能な社会の実現に向けて取り組むことを約束するものです。

SDGsは、政府やNGOだけが取り組むものではありません。地球にくらす私たち一人ひとりが、SDGsを意識した生活をするのが大切です。コープは助

け合いの組織として、世界のの人々とともにSDGsを実現していきます。

※各地の生協や生協連合会が加入する全国連合会

コープデリグループビジョン2025

食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。

コープSDGs行動宣言

私たち生協は、SDGsに貢献することを約束します。

私たちの行動がSDGsにつながっています



食卓を笑顔に 美ら島応援もずくプロジェクト

持続可能な方法で作られた商品を選ぶことで、SDGsにつながります



コープの産直「もずく」の産地、沖縄県・伊平屋島は、サンゴ礁に囲まれ、美しい海と砂浜にはウミガメが産卵に訪れます。しかし近年おびただしい量のゴミが島に漂着し、豊かな自然を脅かすようになってきました。清掃しても大量のゴミを処理する施設が島にはなく、沖縄本島まで船で運ぶ必要がありますが、その費用が大きな負担となっていました。

そこでコープデリグループは、2010年に伊平屋島産もずくの商品を1点お買い上げにつき1円を寄付し、島の自然環境を保護する「美ら島応援もずくプロジェクト」を始めました。もずくを食べることで、漂着ゴミの運搬・処理や砂浜の清掃など、生き物の保護活動に役立てられます。



太く歯ごたえのあるもずくを育てるには、太陽の光を反射する白い砂浜と透き通る海が欠かせません。このプロジェクトが島の美しい自然環境を守り、私たちの豊かな食卓を守ることにつながっています。

過疎化が進むとリゾート開発が進み、島の自然環境が破壊されてしまいますが、もずくを買っておいしく食べることで、生産者を応援することになり、雇用が生まれています。

生産者と消費者である組合員、コープがつながり、ともにプロジェクトに取り組んでいます。毎年、組合員や職員が産地を訪問し、砂浜の清掃活動に参加しています。



私たちが暮らしの中でできること
一つひとつ
積み重ねることが、
SDGsの実現につながります

▶ やってみよう！世界を変える私の行動

- ☑ 電気を節約しましょう。電気機器を電源タップに差し込み、使っていないときはこまめにスイッチを切りましょう。
- ☑ できるだけ簡易包装のものを買いましょう。
- ☑ 生鮮品はできるだけ使い切りましょう。食べ切れないときは早めに冷凍しましょう。
- ☑ 詰め替え可能なボトルやカップを使いましょう。
- ☑ 容器包装はゴミとして捨てるのではなく、リサイクルしましょう。

他にも、私たちができることはたくさんあります。「やってみようかな」と思えることを探してみましょう。



地域を豊かに
地域に広がる助け合いの輪
地域で安心してらせるよう、
さまざまな取り組みが広がっています

▶ 自然災害の被災地を支援

「忘れない」「伝える」「続ける」「つなげる」を合言葉に、東日本大震災の被災地支援に継続的に取り組んでいます。また、2018年に多発した自然災害からの復興支援として、「西日本大雨災害緊急支援募金」「北海道胆振東部地震緊急支援募金」に取り組みました。

東日本大震災復興支援募金	西日本大雨災害緊急支援募金	北海道胆振東部地震緊急支援募金
2011～2017年度累計 4億6,138万円	2億4,169万円	1億5,248万円 ※2018年11月5日現在

▶ 地域の中で組合員どうして助け合い

高齢、障がい、病気・けが、産前産後、子育て中など、暮らしの中で手助けが必要な組合員と、お手伝いができる組合員をつないで助け合う、有償ボランティアの活動を行っています。

